第４２回北海道　第４６回札幌

2026年

学童保育研究集会

（北海道放課後児童支援員資質向上研修）

未来に輝け、学童保育！！

～子どもの笑顔のためにみんなで学び語ろう！！～

働くお父さん・お母さんを応援する学童保育は、子どもたちの放課後の生活を守り、地域の中でも重要な役割を担っています。学童保育の現状や課題をとらえ、親が安心して働き続けられ、子どもたちの成長が保障される学童保育の在り方を学び合い交流しましょう。

この研修は「『放課後児童健全育成事業』の実施について」（令和６年４月１日付け こ成環第 117 号 こども家庭庁成育局長通知）別添 12「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」３②における、都道府県が実施する研修に該当します。※文中の学童保育指導員は、放課後児童支援員と補助員です。

日　　程　：　２０２６年１１月２２日（日）１０：３０～１７：００

会　　場　：　北海学園大学　（札幌市豊平区旭町４丁目 1-40）

申込締切　：　１０月２３日（金）

参加費　　：　3,000 円（一般）　　2,000 円（北海道学童保育連絡協議会の会員）

10:00	10:30	11:00	12: 35	13:30	16:20	17:00
受　付	開会 集会	記念講演	休 憩	分科会	閉会 集会	

記念講演《会場・Zoom》　**大きな家族としての「学童保育」**



この３０年ほどの間に、日本の家族の在り方は大きく変わりました。高度経済成長期に主流になった専業主婦世帯は今では少数派になり、共働き世帯が増えると同時に一人親世帯や単身世帯も増加しています。家族は子育てを始めとするケアの第一次的な単位ですが、その家族が外部委託や課題をこなすための効率重視となっています。子どもの側から見れば息苦しい世界で生きることを強いられることに他なりません。

今、必要なのは、市場化された専門サービスを拡充することよりも、あらゆる形の家族が家族らしくあるための共通基盤を作り上げることです。

学童保育には「大きな家族」という緩やかなつながりを創り出す可能性があります。そのための新たな方法についても一緒に考えてみましょう。

＜プロフィール＞人間科学部地域未来学科、子ども発達学研究科教授
授業では、地域を創る学びについて考えています。

講師：宮﨑　隆志 さん

（北海道文教大学　教授）

主　催　北海道学童保育連絡協議会・札幌市学童保育連絡協議会・北海道
後　援　北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会
（予定を含む）　社会福祉法人北海道社会福祉協議会・公益財団法人北海道こども・若者応援協会
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

分科会 １３：３０～１６：２０

第１分科会【学童保育の役割と大切にしたいこと（基礎編)】　《Zoom のみ》

講師　　平井　茜さん　（横浜市指導員、全国学童保育連絡協議会副会長）

学童保育で子どもたちに豊かな放課後生活を保障し、保護者が安心して働けるように、指導員にはどのようなことが求められているのでしょうか？指導員の果たす役割を講師の豊富な実践のエッセンスに触れながら学びます。

第２分科会【子どもをとらえる視点と働きかけ】　《会場のみ》

助言者　村越　含博さん（北海道教育大学札幌校 講師）

レポート：板垣　咲良さん（札幌市　学童保育所えぞりすクラブ 指導員）

子どもたちと関わるときに、学童保育指導員がどのような視点で子どもをとらえ、どう働きかけるべきか。学童保育で生活する子ども達の仲間や集団の中での気持ちのすれ違い、心のやりとりを通じて成長する姿を指導員はどう見守り、後押するべきなのか。

実践レポートを通じて、共に学び合いましょう。グループ討議も行い、参加者の皆さんの日々の実践からも視点と働きかけを深め合いたいと思います。

第３分科会　Ａ【学童保育の生活とあそび】　《会場のみ》

講師：竹田　謙也　さん（札幌市　飛行船児童育成会　指導員）

学校からクラブに帰ってくる子どもたちは何から生活を始めるのでしょう。
宿題、おやつ、自由あそび（どんな？）私たちは放課後の指導員、支援員として資格のとれる学校で学んだ訳ではありません。先輩指導員や、勤務したそのクラブの伝えるもので保育と云うものが形造られてきたのではないでしょうか。

進化する・・・？いきいきとした生活づくりをテーマにして、改めて学童ほいくを考えてみましょう。

第３分科会　Ｂ【学童保育の生活とあそび】　《Zoom のみ》

レポート：川田　麻子さん（函館市　昭和ありんこクラブ１丁目指導員）

子どもにとって最も自主的な活動である「遊び」。

昭和ありんこクラブ１丁目も生活の中心には常に「遊び」があります。

子どもも大人も個性ひしめき合う中で、クラブが目指す大人像「子どもの心に寄り添える大人」として、何を大切にして、どのように関わり、悩み、模索しているのか…レポートを基に学び、共感し合いましょう

第４分科会【障がいのある子や気になる子の学童保育】　《会場のみ》

講師：坂井　翔一さん（札幌市　自閉症・発達障がい者支援センターおがる　職員）

「何度言ってもうまくいかない」「こんな時、なんて声をかけたらいい？」子どもと関わる中では、対応に迷ったり悩んだりすることがあります。そんな“ちょっと困った”場面を、子どもの立場や特性から見直してみませんか？ 明日からできそうな関わり方や工夫を、みなさんと一緒に考えていきます。

第５分科会【高学年の子どもたちにとっての放課後生活と学童保育】《会場のみ》

助言者：　星　徹さん（札幌市 小学校教諭）
レポート：　廣島　未奈美さん（札幌市 北風クラブ児童育成会 指導員）

高学年保育には、子どもたちが安心できる居場所がありながら、自立と成長につながる経験を積む場であることが重要です。高学年は日々の生活とあそびの中で異年齢集団とどのような関わり方をするのが成長に繋がるのか。高学年の主体的な活動のために指導員はどのような後押しや関わり方をするのが良いのか。高学年保育の難しいところでもあり、醍醐味でもありますよね。

前半はレポートで実践を共有し、後半はグループ討議で皆さんの日々の保育から高学年保育について学び深めあいましょう。

第６分科会【保護者と学童保育　「つながり」を考える】　《会場のみ》

助言者：　吉岡　亜希子　さん（北海道文教大学　教授）
レポート：村上　美津子さん（札幌市　さくらんぼクラブ　保護者）

「学童保育とともに子育てを楽しんで！」「子どもの話を聴いて元気になろう！」学童保育は日常のかかわりを積み重ね紡いできた「子どもと保護者を支えるつながりの場」。保護者同士や学童保育との間でつながりを結びながら協働の子育てを志向する学童保育もあれば、困難さを感じている学童保育もあるようです。レポートをもとにそれぞれの現場の実態を出し合い、交流し学び合いましょう。

第７分科会【学童保育施策のこれからを考える】　《Zoom のみ》

講師：　門田弘之さん（岩手県滝沢市指導員、岩手県学童保育連絡協議会事務局次長）

2025 年「放課後児童クラブ運営指針の改正」がありました。より「子どもの権利」や安全対策を意識した内容が加筆されていますが、国が出した「放課後児童パッケージ 2026」や 2027 年度予算概算要求の内容等をみる限り、その内容が担保されていない懸念があります。国の施策の現状と課題を確かめ合い、「子どもたちにとって居心地の良い学童保育」「保護者とともに学童保育をよりよくしていくための運動」の視点を学び合いましょう。

閉会集会 １６：３０～１７：００　開会集会と同じ会場・ZoomID です

＊＊

参加申し込みについて

参加費(1 人あたり)　**一般：　3,000円　／　北海道学童保育連絡協議会の会員　：　2,000円**

1. 申込は**どちらかの方法**で、**重複しないように**お願いいたします。
   ①下記のＱＲコード、または北海道学童保育連絡協議会（道連協）HP から、参加申込フォームに入力してください。
   ②道連協 HP には複数人数を入力できる Excel 申込ファイルがありますのでダウンロードし、必要事項を入力の上、下記のメールアドレスに添付送信してください。
2. **申込後は速やかに受講料をお振込み下さい。締め切りは１０月２３日（金）です。**
3. **１台のパソコンで複数人が受講する場合でも、人数分の申し込みと入金が必要です。**
4. キャンセルする場合は、１０月２７日（火）までに道連協へご連絡ください。
   それを過ぎると返金できかねますことをご了承ください。
5. 事前に振込みができない事情がある場合はご連絡ください。
6. 事務局から 11 月１０日頃までに、ズーム参加の方にはメールで参加票と ZoomID 等をお送りいたします。メールアドレスを正確にご記入ください。
7. 『討議資料』は WEB ダウンロードと郵送を選択できますが、会場参加の方には『討議資料』を郵送いたします。当日は封筒ごとお持ちください。
8. **１１月１４日まで受講票などが届かない場合は、ご連絡ください。**
9. 請求書または領収書が必要な方は道連協へメールで連絡ください。

《当日 Zoom 参加での注意》放課後児童支援員資質向上研修の為、Zoom で受講する方は顔出しが前提になります。カメラがオフになっていて参加を確認できない、且つ当日連絡のつく電話に出られない場合、こちらから退室の操作をさせていただくこともあります。

【申込先】北海道学童保育連絡協議会　（道連協）

〒060-0806 札幌市北区北６条西６丁目２－１２　第１山崎ビル１Ｆ

TEL　090-5071-6208　FAX ０１１－７５６－２８００

（申し込み専用アドレス）h.gakudouhoiku.kensyu@gmail.com

【振込先】

ゆうちょ銀行：（記号）１９０９０（番号）２８９３７７８１（口座名義）北海道学童保育研究集会実行委員会
北　洋　銀　行：北二十四条支店　　（普）４１５０１４７　　（口座名義）北海道学童保育連絡協議会

★申込フォーム

右の QR コードからフォームに入れます。

・メールアドレス　・お名前 フリガナ　・道連協会員の確認
・立場・経験年数・全道研の参加回数・市町村名
・所属クラブ名（所属ｸﾗﾌﾞがない場合は無と記入）
・希望分科会　・緊急連絡先の電話番号　・振込方法と予定日と振込名　・資料の送付方法(郵送の場合、住所等の記入があります)

★複数人でまとめて申し込む場合は、道連協ＨＰからエクセルファイルをダウンロードし、
必要事項を記入して、h.gakudouhoiku.kensyu@gmail.com　**に添付メールをください。**

＊＊